



CONTENTS

UNIVAS ANNUAL REPORT 2024-25

ご挨拶	1
会員への提供サービス	1
UNIVASパートナー企業	1
UNIVASの存在意義	2 - 3
UNIVAS加盟大学・加盟競技団体	2 - 3
UNIVAS TOPICS / ・クリーンな大学スポーツ界を目指して ・新たなパートナー / 大学スポーツ×地域	4 - 5 6 - 7

スポーツで学ぶ

学習支援プログラム	8
デュアルキャリアプログラム	9
UNIVAS SSC	10
安全安心セミナー / 安全体制支援制度	11

大学スポーツを見る / 知る

UNIVAS AWARDS	12-13
UNIVAS CUP / LIVE配信	14
U.S.L. / 各種SNS / 國際交流	15

SERVICE PLATFORM

My UNIVAS	16
UNIVAS HISTORY	17
入会のご案内	17



大学スポーツ協会 会長
福原 紀彦

大学スポーツ協会(UNIVAS)は、わが国における大学スポーツの振興と社会的価値の増大に向けて2019年3月に創設され、以後6年間、大学スポーツの安全安心な環境の整備をはじめ、学生アスリート等のデュアルキャリア形成支援、大学スポーツの認知拡大・ブランド価値向上およびDX推進等、数多くの事業を展開して参りました。日頃より、当協会の活動に多大なご理解ご支援を賜っております大学、競技団体をはじめ、政財官学の各方面における関係者の皆さまに対しまして、この年次報告書の刊行にあたり、心より厚く御礼を申し上げます。

スポーツは、人類の誠実で健全で高潔な持続可能性と進化に不可欠な営みであり、どのような時代やいかなる社会においても人々が大切にしてきた営みです。一方、大学は人類の知恵と力を開発し継承し、教育・研究・社会連携によって知識基盤社会を構築し、人類の持続可能性と進化を支える時間と空間を創出する何ものにも代えがたい存在です。歴史的に、わが国の近代スポーツは、開化期であった明治の大学において興隆し、その後も大学が牽引し、オリンピックをはじめとする国際的な大会や国内の競技大会の参加や運営において、大学が大きな役割を果たして参りました。

また、人材育成やスポーツ科学の研究、地域社会との連携において、

今日ほど、大学が果たすべき役割に注目され、大学スポーツの社会的価値が大きいことを認識できる時代はないといえます。しかし、人類社会の高度化とともに価値観が多様になり、複雑になり、交錯する現代の社会においては、大学スポーツが直面する課題も多く、大学スポーツのあり方が問われる場面が多様化していることも現実です。

UNIVASでは、昨今の大學生スポーツの活動や運営における不祥事を受け、2024年度はクリーンな大学スポーツ界を目指し、ドーピング防止教材の提供や大学生が巻き込まれやすいトラブルとして薬物・飲酒・闇バイトに関するコンプライアンス研修会の実施など、様々な取り組みを強化して参りました。さらに、運動部活動の地域移行が進む中で、「大学スポーツ×地域」の未来を広く発信するために、スポーツ庁委託事業である「令和6年度感動する大学スポーツ総合支援事業」を展開し、先進的な取り組みを行う14大学18事例の成果報告会を実施いたしました。また、UNIVAS AWARDS 2024-25には190件もの応募をいただき、その選考や表彰を通じて、大学や競技団体の皆さまが、学生の大きな成長に寄与され、暖かく見守りながら親身の指導をしておられる様子を確認し全国に紹介することができました。最近では、UNIVASへの加盟やUNIVAS SSC(安全安心認証)の取得により、加盟大学や加盟競技団体が学生アスリートを大切にする姿勢を示し、大学スポーツへの社会からの信頼を得て、多くの学生を迎えていている傾向にあります。

UNIVASは、今後も、学生たちが大学スポーツから様々な学びを得て、その知見を最大限に活かし、必要とされる人間力を育めるように、大学スポーツに関わる多くの方々をサポートして参ります。そして、大学スポーツを取り巻く環境を継続的に整備・改善することで、大学スポーツが生み出す価値や感動を広く社会に届け、その社会的意義を高めていきたいと考えています。引き続き、皆々様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、年次報告書冒頭のご挨拶とさせて戴きます。

会員への提供サービス **SERVICE**

UNIVASでは、大学スポーツ振興に向けて様々な事業を展開しております。各々の事業においては、大学・競技団体会員の活動や学生、アスリートを支援すべく、セミナー・研修会の開催、オンラインプログラムの提供、ガイドラインの提示等に加えて、開催されたインカレを中心に試合の模様をライブ配信を行うことにより、学生アスリート達のモチベーションアップは勿論、大学スポーツファンの拡大に取り組んできております。また会員は、各大学、競技団体の特性や事情に応じて享受するサービスを選択できます。UNIVASは会員の多様性を踏まえた支援を行い、大学スポーツの振興活動を推進しています。

- 1 学業充実・デュアルキャリア形成推進事業
- 2 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業
- 3 大学スポーツ認知拡大の推進事業
- 4 会員サポートプラットフォームの提供事業
- 5 学生とのコミュニケーション活動

UNIVASパートナー企業

UNIVASは、その理念に共感していただいた企業の皆さまとパートナー契約を締結し、大学スポーツの振興に向けた様々な活動をパートナー企業と共に推進しています。「学修支援・デュアルキャリア形成支援」、「安全安心な環境整備」、「大学スポーツの盛り上げファンの拡大」といった活動に各パートナー企業が有する専門性を加えることにより、より充実したサービスを会員・学生・ファンの皆様に提供してまいります。

TOP PARTNER



GOLD PARTNER



ACADEMIC PARTNER



OFFICIAL SPONSOR

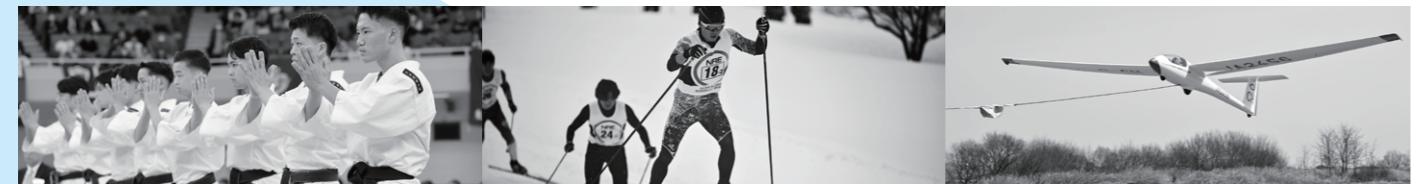


UNIVASは加盟大学・加盟競技団体とともに

UNIVASの存在意義

[UNIVASの目指すところ]

大学スポーツを通して、
学生の人間力を高め、多様な世界に解き放ち、
よりよい自分、よりよい社会へと導く。



全国226大学が加盟

※地域別五十音順
※2025年3月末時点

形態別大学数 | 国立 24 | 公立 5 | 私立 179 | 短大 18

北海道 5大学

札幌国際大学/星槎道都大学/北翔大学/北海道大学/
北海道教育大学

東北 12大学

青森中央学院大学/石巻専修大学/尚絅学院大学/仙台大学/
東北大学/東北学院大学/東北工業大学/東北福祉大学/八戸学院大学/
東日本国際大学/富士大学/宮城学院女子大学

関東 69大学

青山学院大学/亜細亜大学/育英大学/育英短期大学/茨城大学/
宇都宮大学/江戸川大学/桜美林大学/学習院大学/関東学院大学/
共栄大学/敬愛大学/國學院大學/国際武道大学/国士館大学/
駒澤大学/埼玉大学/芝浦工業大学/順天堂大学/城西大学/
城西国際大学/尚美学園大学/上武大学/成蹊大学/星槎大学/
西武文理大学/清和大学/専修大学/創価大学/大正大学/
大東文化大学/高崎健康福祉大学/拓殖大学/玉川大学/中央大学/
帝京大学/帝京大学短期大学/帝京平成大学/電気通信大学/
桐蔭横浜大学/東海大学/東京学芸大学/東京経営短期大学/
東京国際大学/東京女子体育大学/東京女子体育短期大学/
東京都市大学/東京農業大学/東京薬科大学/東京理科大学/東洋大学/
東洋学園大学/常磐大学/日本体育大学/日本ウェルネススポーツ大学/
日本女子体育大学/日本薬科大学/白鷗大学/一橋大学/文教大学/
平成国際大学/法政大学/武蔵丘短期大学/明海大学/明治学院大学/
明星大学/立教大学/立正大学/早稲田大学

[スローガン]

よりよい自分へ、高めあう。

社会では、主体的に考え、感じ、行動できる人間力が求められる。UNIVASは、学生たちが大学スポーツからさまざまな学びを得て、その知見を最大限に活かし、必要とされる人間力を育めるようにサポートする。そして大学スポーツを取り巻く環境を継続的に整備・改善することで、大学スポーツが作り出す価値や感動を世の中に届け、その社会的意義を高めていく。

大学スポーツ振興を推進します。

[UNIVASの活動指針]

大学スポーツを楽しむ学生を支える

運動部学生のために学業面と安全安心な競技環境面での支援を充実させる。さらに広くスポーツに親しむ機会を積極的に提供し、大学スポーツ人口の継続的な拡大に努める。

大学スポーツを観戦する人を増やす

学生がスポーツを観戦・応援する風土を取り戻し、大学スポーツのある学生生活の素晴らしさを伝える。OB・OGや地域の方々を中心に大学スポーツのファンを増やす。

大学スポーツへの支援の輪を広げる

大学と協働し運動部活動への円滑な関与を実現する。スポーツに関するさまざまな研究の成果を大学スポーツに注ぎ込む。産学官から広く支援を獲得し、大学スポーツの振興につなげる。



中国 12大学

岡山商科大学/環太平洋大学/山陽小野田市立山口東京理科大学/
至誠館大学/周南公立大学/東亜大学/広島大学/広島経済大学/
広島国際大学/広島修道大学/広島文化学園大学/山口大学

四国 11大学

香川大学/高知工科大学/四国大学/四国学院大学/聖カタリナ大学/
聖カタリナ大学短期大学部/高松大学/高松短期大学/徳島大学/
徳島文理大学/松山大学

九州 26大学

大分大学/沖縄大学/沖縄国際大学/鹿児島大学/鹿屋体育大学/
九州医療科学大学/九州共立大学/九州国際大学/九州産業大学/
九州女子大学/九州女子短期大学/近畿大学九州短期大学/
熊本学園大学/久留米大学//西南学院大学/崇城大学/
第一工科大学/長崎国際大学/西日本工業大学/日本経済大学/
日本文理大学/福岡大学/福岡工業大学/
福岡工業大学短期大学部/宮崎大学/名桜大学



39競技団体加盟、登録学生競技者は約15万人

[競技団体会員]

※2025年3月末時点

一般社団法人 日本学生射撃スポーツ連盟/公益財団法人 日本学生航空連盟/公益社団法人 日本オリエンテーリング協会/
一般社団法人 日本スポーツチャンバラ学生連盟/一般財団法人 全日本大学バレーボール連盟/一般財団法人 全日本大学バスケットボール連盟/
一般社団法人 日本フライングディスク協会/公益社団法人 日本トライアスロン連合/一般社団法人 日本学生サーフィン連盟/
公益社団法人 日本ウエイトリフティング協会/公益財団法人 日本水泳連盟/一般社団法人 全日本学生空手道連盟/
一般社団法人 全日本学生テニス連盟/一般社団法人 全日本学生アーチェリー連盟/公益財団法人 全日本大学野球連盟/
一般社団法人 全日本学生カヌー連盟/一般社団法人 全日本学生レスリング連盟/公益財団法人 全日本なぎなた連盟/
一般社団法人 全日本学生ハンドボール連盟/一般社団法人 日本学生ソフトテニス連盟/一般社団法人 日本学生ホッケー連盟/
公益社団法人 全日本学生スキー連盟/公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会/一般社団法人 全日本学生柔道連盟/
一般社団法人 全日本大学ソフトボール連盟/公益社団法人 日本ローライング協会/公益社団法人 日本ボクシング連盟/
一般財団法人 少林寺拳法連盟/公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会/一般社団法人 全日本テコンドー協会/
一般社団法人 全日本学生馬術連盟/公益社団法人 日本パワーリフティング協会/公益財団法人 日本バドミントン協会

[連携会員]

一般社団法人 日本拳法競技連盟/一般社団法人 日本オーストラリアンフットボール協会/公益社団法人 日本ラクロス協会/
一般社団法人 全日本フルコンタクト空手コミッショナ/一般社団法人 サップリングジャパン/一般社団法人 日本ネットボール協会

クリーンな大学スポーツ界を目指して

2024-25 season

UNIVAS TOPICS



「スポーツにおける医薬品の不適切使用の防止に関する共同宣言」に賛同

2024年7月9日(火)都内にて「スポーツにおける医薬品の不適切使用の防止に関する共同宣言」の調印式が行われ、スポーツ庁と日本製薬団体連合会がスポーツ界においてドーピング根絶に向けて情報発信を行っていくことを宣言しました。

当協会は、スポーツの価値を守り、クリーンなスポーツを実現するためにアンチドーピング活動を推進してまいりましたので、これらの取り組みに賛同し、学生に有益な情報を発信し、安全で安心なスポーツ環境を整えていきたいと思います。



クリーンスポーツの認識と理解を高める、大学生のためのドーピング防止教育教材を提供

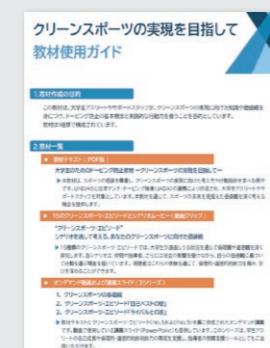
大学スポーツにおけるドーピング防止教育普及事業(スポーツ庁委託事業)

クリーンスポーツの実現に向け、クリーンスポーツの認識と理解を高めるため、特にドーピングの予防に焦点を当てたドーピング防止教育教材を制作しました(UNIVAS公式サイトにて提供中)。大学生アスリートやサポートスタッフが適切な意思決定と行動を取るための観点を重視しています。

部活動やクラブ、同好会などさまざまな形態で大学スポーツに取り組む運動部学生とサポートする学生スタッフや関係者を対象としており、スポーツの価値を守り、未来へつなげていくために正しい知識と意識、認識を身につけることができる教材です。



教材テキスト



教材活用ガイド



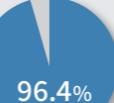
動画クリップ

指導者・管理者セミナー

「大学における運動部のガバナンス強化」をテーマに研修会を開催いたしました。



セミナーで気づきや学びがあった



相談窓口

UNIVASに加盟する大学および競技団体に所属するアスリートやマネージャー、コーチなどの学生スタッフ、大学スポーツに関わる学生、大学卒業生または所属後3年を経過しない方、その親族、指導者およびチームスタッフが無料で利用することができます。UNIVASは、パワハラやセクハラ、ドーピング、その他社会規範に照らして不適切な行為などをなくし、安全で安心してスポーツが行える環境を整備し、学生がスポーツを楽しみ、最高のパフォーマンスを発揮できるようサポートしてまいります。



本窓口の利用者

- 選手
- マネージャー
- コーチなどの学生スタッフ
- UNIVASに加盟する大学または競技団体に属し、大学スポーツに取り組む学生または大学卒業生。若しくは所属後3年を経過しない方
- 上記保護者
- 指導者およびチームスタッフ

コンプライアンス研修会

大学スポーツ関係者が安全安心にスポーツに取り組むことができるよう、大学スポーツ界のコンプライアンス意識の浸透・醸成を目指し、コンプライアンス研修会を開催しております。ハラスメントやSNS問題、大学生が巻き込まれやすいトラブルなどの不適切行為をなくすため、オンラインで定期的に実施する「UNIVASコンプライアンス研修会」の開催や、各団体の抱える問題やご要望に合わせて実施する「講師派遣型研修」、5分で気軽にコンプライアンスについて学ぶことのできる学習動画の公開の3つの形式で研修会を実施し、学生が安全で安心してスポーツ活動に取り組める社会を目指し活動しています。

[オンライン開催]

スポーツ現場におけるコンプライアンス意識の向上を目指して、対象者別にオンライン研修会を開催いたしました。2024年度は前年のテーマや趣向を一部変えながら、ワークの導入など、より理解を深めることができる形態で全10回のオンライン研修を実施し、アーカイブ配信を含めると6,851名の大学スポーツ関係者の皆様に受講いただきました。

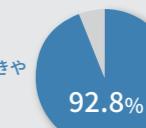


	対象	テーマ	講師
2024年5月	管理者/指導者/学生	コンプライアンスとは	※オンデマンド配信
6月	管理者/指導者	ハラスメント(基礎編)	中山 祥(UNIVAS法務部長・弁護士)
7月	管理者/指導者	ハラスメント(事案編)	
8月	学生	大学生が巻き込まれやすいトラブル(薬物編)	松本 達朗氏(公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター(DAPC)専務理事)
9月	学生	大学生の身近な法律問題	平 龍大(UNIVAS法務部副部長・弁護士)
10月	管理者/指導者/学生	SNS(基礎編)	小塩 康祐(UNIVAS法務部長・弁護士)
11月	管理者/指導者/学生	SNS(事案編)	
12月	学生	大学生が巻き込まれやすいトラブル(飲酒編)	サントリーホールディングス株式会社 DRINK SMART アンバサダー
2025年2月	管理者/指導者/学生	クリーンスポーツの実現に向けて ~知らないと危険?自分を守るドーピング防止の知識~	岡田 悠佑氏 (明治学院大学心理学部教育発達学科助教/早稲田大学スポーツ科学研究センター研究員)
2月	学生	大学生が巻き込まれやすいトラブル(闇バイト編)	小塩 康祐(UNIVAS法務部長・弁護士)

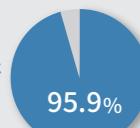


- 参加団体数／130団体
- 参加者数／1,791名
- アーカイブ再生回数／5,060回

本研修で気づきや
学びがあった



本研修の内容は
今後役立つ



[講師派遣]

大学や競技団体の要望や、ヒアリングの内容に応じて個別開催する講師派遣型のコンプライアンス研修会を実施いたしました。2024年度は前年度を大きく上回る8,222名(25大学、4競技団体・38コマ)の皆様にご利用いただき、講義やグループディスカッションなどを通してコンプライアンス意識の向上に努めました。

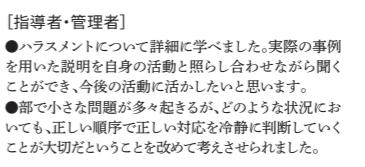
また、実施団体の事例(実施レポート)を公開し、実施概要や、様子、参加者の声を発信することで、講習会実施を検討していただくための一助としてご活用いただきました。



実施レポートは
こちら



参加者の声



[指導者・管理者]

- ハラスメントについて詳細に学べました。実際の事例を用いた説明を自身の活動と照らし合わせながら聞くことができ、今後の活動に活かしたいと思います。
- 部で小さな問題が多く起るが、どのような状況においても、正しい順序で正しい対応を冷静に判断していくことが大切だということを改めて考えさせられました。

[学生]

- コンプライアンスは自分にあまり関係ないと思っていた話を聞いてみて身近なものだと感じました。
- 今一度、薬物の危険性やその被害、コンプライアンスについての知識を学ぶ機会になりました。また自身だけの被害に留まらず、周りに迷惑をかけるということをより実感することができました。

[ショート動画:5分で知るコンプラ動画の公開]

大学スポーツにかかわる学生が身につけるべきコンプライアンス知識を1話あたり5分に凝縮した学習動画です。コンプライアンスに関する基礎知識を短時間で身につけることができ、各話の視聴後には理解度チェックテストで理解度を確認することができます。特にコンプライアンス研修オンライン開催や講師派遣型コンプライアンス研修を受けるための基礎知識としてご活用いただきました。



- 再生回数 30,603回
- 第1話—コンプライアンスとは何かを知る
- 第2話—ハラスメントを知る
- 第3話—加害者への処分を知る
- 第4話—一身近に潜む犯罪を知る
- 第5話—悩んだら相談しよう

新たなパートナーシップ/大学スポーツにおける 地域貢献

2024-25 season

UNIVAS TOPICS



日本郵政株式会社とパートナーシップ契約を締結

UNIVASと日本郵政は、大学スポーツを次のステージへ進めるために、日本郵政がUNIVASのオフィシャルスポンサーとなり、UNIVASが実施する大学スポーツの振興に関する取り組みをサポートするパートナーシップ契約を締結しました。

UNIVASは、大学スポーツの振興を目的に2019年3月に発足してから6年が過ぎ、学修支援の充実、安全安心なスポーツの環境整備、大学スポーツの認知向上のためライブ配信などの事業を行ってまいりました。

また、日本郵政は「日本郵政グループのスポーツへの取り組みに関する基本的考え方」に掲げる「スポーツのチカラでニッポンをゲンキに！ powered by Team JP」に基づき、スポーツに関連する多様な施策を通じてグループ社員の健康増進を図り、社員の前向きな行動を通じて地域社会の活性化につなげるよう取り組んでいます。全国に226校の加盟大学と39の加盟競技団体を抱えるUNIVASと、全国に約24,000の郵便局ネットワークを有する日本郵政グループのスケールメリットを活かし、地域社会の活性化と大学スポーツの認知向上を目指してまいります。



株式会社NHKエデュケーションとパートナーシップ契約を締結

UNIVASは、2025年2月、大学スポーツを次なるステージへ進めるため、新たなパートナーとしてNHKエデュケーションと契約を締めました。

NHKエデュケーションは、NHKの教育番組制作のノウハウを生かし、学校や塾・予備校、企業研修の現場で求められる良質な教材を制作しています。

UNIVASは大学スポーツにおけるインテグリティ向上のため、NHKエデュケーションが開発するスマートフォンアプリ「まこトレ」を提供していただき、スポーツ活動を安全安心な環境で取り組んでいける体制を整えてまいります。UNIVASは保有する会員向けのプラットフォーム「My UNIVAS」と、NHKエデュケーションのスマホアプリ「まこトレ」との連携を図り、大学スポーツに関わるすべての皆様に、質の高いコンテンツを提供します。



東京都教育委員会と学校部活動の地域連携・地域移行の実現に向けて連携協定を締結！

東京都教育委員会と、東京都内の公立中学校等の学校部活動の地域連携・地域移行の実現に向けた支援等を目的に連携協定を2024年10月22日に締結いたしました

連携協力事項

- 1部活動の地域連携・地域移行について実施する調査・研究
- 2大学スポーツの資源を活用した地域クラブ活動についての検討
- 3実施する部活動の地域連携・地域移行に係る事業における、専門的な見識及び大学とのネットワークの活用
- 4学校部活動及び地域クラブ活動において指導ができる、学生の確保



スポーツ庁委託事業「令和6年度 感動する大学スポーツ総合支援事業」成果報告会—交流で広がる「大学スポーツ×地域」の未来—

「大学スポーツ×地域」の未来を広く発信することを目的に、採択大学14大学18事例の成果報告とともに、先進的な取り組みを行う大学と個別に情報交換を行う成果報告会を開催しました。



1.大学スポーツムーブメントモデル創出支援事業

- | | |
|-------|--|
| 仙台大学 | 仙台大学バレーボールホームゲームin柴田
柴田町総合体育館プレオープン記念大会 |
| 筑波大学 | 筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」 |
| 立命館大学 | 多様な学生で構成される実行委員会が中心となって実施する持続可能なホームゲーム |

2.大学生指導員の養成・確保に関する実証事業

- | | |
|--------|--|
| 青山学院大学 | 渋谷区の学校部活動の地域連携・地域移行における大学生の果たす役割に関する実証事業 |
| 静岡大学 | 地方小規模都市の部活動地域移行に関する持続的な大学生指導者活用に向けて |
| 周南公立大学 | しゅうなん・スポーツコミュニティ・プロジェクト |
| 順天堂大学 | 大学生指導員の養成・確保に関する「SPORTS FOR ALL ダイバーシティプログラム」の実証事業～すべての生徒にスポーツをアクセス！、広まるSOPDIP(スポディフ)の輪～ |
| 長崎国際大学 | 長崎国際大学におけるスポーツ指導員増員計画～大学の授業＆産学官連携・市民参加型＆離島を含めた部活動地域移行支援プログラム～ |
| 山梨学院大学 | 山梨学院大学発「やまなしスポーツ指導者」養成プロジェクト |



3.大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業

- | | |
|----------|---|
| 鹿屋体育大学 | 鹿屋体育大学と鹿屋市の連携による市民のライフコースに合わせた地域連携型ヘルス＆スポーツプロモーションモデル事業 |
| 福岡大学 | 福岡大学発「FUSIPOMachiコンソーシアム」の共働によるパラスポーツの普及・振興モデル～大学スポーツ資源と地元プロチームホーム戦会場を活用したインクルーシブな教育・体験機会の創出～ |
| 立命館大学 | 立命館大学による「びわこ・くさつWell-beingコンソーシアム」×「多様な学生参画プロジェクト」を通じた地域のスポーツ推進ならびに多世代で交流できる健幸コミュニティ創出モデル事業 |
| 国際医療福祉大学 | 国際医療福祉大学によるスポーツでつながるとちぎプロジェクト～地域の健康と交流を育むアクティブラーニングプロジェクト創出～ |
| 静岡大学 | 静大SPORTSによる共創社会構想プロジェクトII～市民型スポーツネットワークの拡張を目指して～ |
| 順天堂大学 | 大学スポーツ資源を活用した地域のウェルビーイング向上事業「スポーツ×環境問題～水辺と箱根路をアウトドアスポーツ体験できれいに！～」 |
| 長崎国際大学 | 「チームNIUスポーツ」による産学官連携地域密着型地域スポーツ振興活動～「大学スポーツ」による人口減抑制への挑戦～ |
| 新潟医療福祉大学 | 「スポーツに満ちた明るく豊かな新潟市の実現」に向けたスポーツムーブメントの醸成～新潟医療福祉大学のスポーツ資源を活用し「スポーツ都にいがたプラン」の実現～ |
| 日本体育大学 | 大学資源を活用した総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ振興～NITTAIクラブによる小学生向けチーム活動と中学校地域部活動の展開～ |

スポーツに取り組む学生向け学習支援教材を提供。

学生が大学において学修を進めるうえで重要である「学ぶことの必要性の理解」「学びへの動機付け」「学びへの興味喚起」という点を、運動部学生にとって取り組みやすいスポーツを題材として取り入れた学習支援プログラムです。

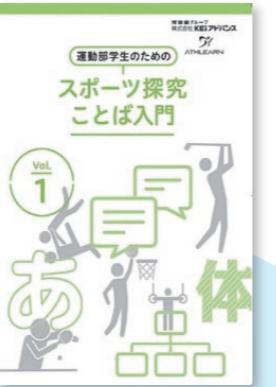


学業への興味を喚起する導入教材



スポーツと学びのハンドブック

大学で「なぜ学ぶのか」「どうやって学ぶのか」デュアルキャリアへの意識を育て、スポーツと学びの関わりがわかる学問やコンプライアンスの理解を深めるスポーツ・インテグリティについても学べるサポートブック。



運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門

グループワークやレポートなど、大学で学ぶには、高校以上に言語能力が必要です。本教材では、接続詞や句読点等の基礎的な文章のきまりをはじめ、自己のスポーツ経験の描写やレポートの書き方などを通じて、言語活動の伸長を促します。



「スポーツと学びのハンドブック」を活用した大学基礎教養セミナー

アカデミックパートナーである株式会社KEIアドバンスと共に運動部学生を対象とした教材を協働して開発・提供を行っております。また教材をより活用いただくため専門講師を派遣するセミナーを実施し、導入に伴うご負担を軽減できるよう取り組んでいます。大学で学ぶにあたって必要な「大学と高校との違い」「授業の受け方」「レポートの書き方」「時間活用力、集中力」などの基礎知識を専門講師がお伝えします。(所要時間45分程度)

参加者の声

- 部活で生きる言語化能力という切り口では特に指導をしていなかったため、今回の講座内容は魅力的だった。
- 言語化がいかに大切か、いかに難しいかを理解することが出来た。普段から言語化の意識を持ち生活したい。
- わかりやすい言葉でレクリエーションも含まれているため、とても学習しやすかった。
- 部活だけでなく、学業も言語化して具体的な目標を立てて高みを目指していきたい。



「運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門」を活用した言語化スキル育成セミナー

自身の「経験の分析」や「目標設定」を通して、大学の学びはもちろん、アスリートとしても活用できる“言語化”に必要な基礎知識を専門講師がお伝えします。言語化の重要性を理解するためのゲームやディスカッションを通じて、自分の考えを具体的な言葉にしていく作業から始めていきます。教材内のワークを用いて手を動かす時間もついているので、自己の経験をふりかえって言語化を取り組み競技と学びを繋げられるよう文章に落とし込むコツを身に付けることができます。

参加者の声

- 文武両道からさらにもう一步先進むことで社会に出た時に大きな差に繋がるんだなと思った。
- ハンドブックなどを見ながらそのスポーツだけではなく栄養面やモチベーションを保ちながら競技を続けるメンタル面の考えも学べて良かった。
- 周りから将来の仕事はどうするの?などをよく聞かれていたので、部活だけに気持ちを置くのは将来に結構響いてくるなと実感した。
- 大学まで来てスポーツを学ぶ意味というのをもう一度考えるきっかけとなった。

デュアルキャリアプログラム

デュアルキャリアプログラムは、人生を豊かにするための人間力を学び、競技力やチーム力の向上とともに、卒業後も社会で活躍できる能力を身につけるためのプログラムです。運動部活動を通じて得るものは競技のスキルだけではありません。どんなことを意識して部活動に取り組むか、そのポイントを見極め、言語化し、それに向けて主体的行動することで、社会で必要とされるスキルを大きく伸ばすことができます。

Produced by 

講師派遣型セミナー

UNIVAS加盟大学・競技団体の研修会等に講師が直接お伺いし、ご要望に応じたテーマ・内容で人間力生成を学べます。各テーマに沿ったワークに取り組み、日々の運動部活動で実施するアクションプランを各自で決定し、課題に向き合っていきます。

受講大学

組織マネジメント研修

日本福祉大学 文化系含む公認団体に所属する学生(約18団体)
全日本学生スキー連盟 連盟加盟学生
東京理科大学 文化系含む公認団体に所属する学生
東北工業大学 硬式野球部
東北大 体育系文化系学生
愛知産業大学 硬式野球部
岐阜協立大学 運動部8団体2・3・4年生
甲南大学 指導者
大阪成蹊大学 8強化指定部
東北大 学友会所属運動部12団体
城西大学 陸上競技部

コミュニケーション講座

大阪成蹊大学 フットサル部

リーダーズキャンプ

国際武道大学 学友会所属44団体
北翔大学 体育会系12クラブ
専修大学 各部の次期主将・主務
中京大学 クラブ運営委員会
桃山学院大学 体育会クラブ約30団体
環太平洋大学 運動系学生
広島経済大学 運動系文化系学生
中部大学 運動系文化系含めて70クラブのリーダー・運営委員会メンバー
明星大学 体育会文化系も含めて60団体代表・副代表・体育会本部
びわこ成蹊スポーツ大学 25団体のキャプテン
國學院大學 アルティメット部
電気通信大学 各団体部長2・3年生
名古屋学院大学 各クラブ次期リーダー(体育会・文化合同会)約50クラブ
岐阜協立大学 運動部8団体3・4年生
流通科学大学 クラブ推薦2・3年生

社会人基礎力養成研修

八戸学院大学 自転車競技部・ラグビー部・スピードスケート部1年生
八戸学院大学 ラグビー部・スピードスケート部
大阪大谷大学 運動部4団体(新2年生~4年生)
大阪大谷大学 5団体1年生・硬式野球部2~4年生
京都橘大学 居合道部
日本体育大学 9人制女子バレーボール部
愛知学院大学 硬式野球部
全日本学生なぎなた連盟 連盟所属大学なぎなた部1~3年生
熊本学園大学 体育会クラブ16団体
九州産業大学 学友会所属部
福岡大学 サッカー部2年生・3年生
福岡大学 サッカー部1年生
広島経済大学 硬式庭球部・男子バスケットボール部・男子バレーボール部
羽衣国際大学 硬式野球部・女子ソフトボール部・女子駅伝部・バドミントンクラブ
城西大学 サッカー部
大阪体育大学 硬式野球部
東海学院大学 硬式野球部1年生
東海学院大学 硬式野球部2・3年生
東北工業大学 硬式野球部
福岡大学 スポーツ科学部学生
城西大学 陸上競技部
福岡大学 サッカー部



【組織マネジメント研修】

○部としての仕事や技術についてなど、問題がとても多いように感じていたが、総じて情報共有に改善すべきところがあるのだと気がついたので、今まで使ってみようとなかったアプリケーションやソフトの活用を検討しようと思う。

【リーダーズキャンプ】

○私は主将をしていく中での不安を1人で抱えていて日々を楽しく過ごさなかったが、このリーダーズキャンプで自分と同じように不安や迷いを抱えながら主将をしている人に会えて自分だけではないと思ったのが嬉しかった。また不安になった時は今日いた顔を思い出して腐らす頑張りたいと思えたのでオススメです。

【コミュニケーション講座】

○私が見えていないところを、思った以上に他の人が見えていたり、違った視点で物事を感じ取る人がいて、いかにコミュニケーションが大切か感じられました。

【社会人基礎力養成研修】

○実行する上で何を目的にやるかで実行する内容や目的が全然変わってくると思うので、ただやるのではなく考えて行動していきたいと思いました。

日本初の安全安心認証「UNIVAS SSC」とは

本制度は、安全で安心な大学スポーツ活動を実現するための環境整備に向け、日本初の大学スポーツにおける安全安心認証の制度として構築されました。

UNIVASが策定した「安全安心ガイドライン」で推進すべき13項目を「評価項目」として設定し、一定の基準を達成するとUNIVAS SSC(安全安心認証)が付与されます。この認証付与を通じて、大学・競技団体による主体的な安全・安心環境の整備が推進されることとなります。

また、UNIVAS SSC(安全安心認証)を取得した大学・競技団体には、UNIVAS SSC補償制度(保険)が自動付帯され、環境面・補償面から安全で安心な環境の構築につながります。



安全安心ガイドライン

2020年1月に、UNIVASでは全ての競技に共通する安全安心に関する遵守すべき事項(大学や競技団体の安全管理体制のあり方や頭頸部外傷、脳振盪、熱中症、心停止等の重大事故の予防策)を明記したガイドラインを作成いたしました。

2022年4月に第2版を発行し、ガイドラインの活用を推奨しております。(2020年1月初版、2022年4月第2版)



UNIVAS SSC補償制度

UNIVAS SSCを取得すると、2つのプログラムのUNIVAS SSC補償制度が自動付帯されます。

1.体制整備プログラム

不祥事があった際のブランドイメージ回復費用(記者会見の実施や第三者委員会の調査委に要した費用、コンサルティング費用等)のバックアップ(上限1会員1事故300万円)

2.賠償プログラム

指導者が大学スポーツにおける業務中に、第三者の身体に障害を負わせた場合に被る損害賠償責任に対してのバックアップ(上限1名1億円、1事故3億円)



UNIVAS SSC認証大学・競技団体 [28大学・20競技団体](2025年3月末時点)

〈認証大学〉 ※地域別五十音順

[関東] 増田大学(東京都) / 関東学院大学(神奈川県) / 敬愛大学(千葉県) / 國學院大學(東京都) / 成蹊大学(東京都) / 中央大学(東京都) / 帝京大学(東京都) /

帝京平成大学(東京都) / 平成国際大学(埼玉県) / 武藏丘短期大学(埼玉県)

[中部] 知知大学(愛知県) / 知知学院大学(愛知県) / 岐阜協立大学(岐阜県) / 中京大学(愛知県) / 新潟医療福祉大学(新潟県) / 日本福祉大学(愛知県) /

山梨学院大学(山梨県)

[近畿] 大阪経済大学(大阪府) / 京都橘大学(京都府) / 神戸学院大学(兵庫県) / 羽衣国際大学(大阪府) / 佛教大学(京都府)

[中国] 環太平洋大学(岡山県) / 広島修道大学(広島県)

[四国] 四国大学(徳島県) / 徳島文理大学(徳島県)

[九州] 長崎国際大学(長崎県) / 福岡大学(福岡県)

〈競技団体〉 ※取得順

日本学生航空連盟、日本学生ウエイトリフティング連盟、全日本学生スキー連盟、日本学生ソフトテニス連盟、日本学生サーフィン連盟、全日本大学ソフトボール連盟、

全日本学生馬術連盟、日本アメリカンフットボール協会、日本パワーリフティング協会、全日本学生ハンドボール連盟、日本学生ホッケー連盟、全日本大学バスケットボール連盟、

全日本なぎなた連盟、全日本学生テニス連盟、全日本学生カヌー連盟、日本ローラーイング協会、日本オリエンテーリング協会、全日本学生レスリング連盟、

全日本大学バレーボール連盟、全日本学生空手道連盟

安全安心セミナーを定期的に開催

大学スポーツの安全安心な環境の構築を目指し、運動部に関わる管理者、指導者、運動部学生の意識の醸成および情報提供の場として、安全安心セミナーを本年からオンラインにて定期的に開催しました。



安全安心セミナー



- 普段なんとなくでしか知らなかった知識を正しく知れたのでとても良かった。
- 全体を通して、分かりやすく丁寧にご説明をしていただき、満足している。今後、本学の学生でも十分に理解し、部活動の際の危機管理に活用できると実感した。
- たいへん、ためになるセミナーだった。スポーツの指導者は当然ながら、選手自身も知識として持っておく必要があると思った。
- わかりやすく、かつ大切なことや選手が疑問に思うことなどを説いていただけたので、とても勉強になった。
- 基礎的な部分での最新の情報が伺えて大変参考になった。
- 今回のテーマは、選手の将来に大きく関わる問題かと思うで、今後も指導者向けに発信していただきたい。また、現場では男性指導者から話しづらいテーマもあるので、指導者が気軽に相談できたり、選手自身が気づき、病院の受診や相談ができるたりする環境づくりを心がけていきたいと思った。

回	日程	内容	講師
1	2024年5月29日	熱中症の予防と対策①	川原 貴 (UNIVAS副会長、安全安心委員長)
2	2024年6月26日	熱中症の予防と対策②	川原 貴 (UNIVAS副会長、安全安心委員長)
3	2024年8月27日	心肺停止・突然死の予防と対策	佐保 豊 (NPO法人スポーツセーフティジャパン 代表理事)
4	2024年10月23日	頭部外傷の予防と対策 ～脳振盪や脳挫傷等のリスクから身を守る～	佐保 豊 (NPO法人スポーツセーフティジャパン 代表理事)
5	2024年12月20日	「学生アスリートのメンタルヘルス～自身の気付きと周囲のケア～」女性アスリートのコンディショニング	山口 達也 (順天堂大学スポーツ健康科学部、医学部スポーツ医学研究室)
6	2025年2月26日	スポーツに取り組む女性のコンディショニング～基礎知識と対策～	能瀬 さやか (国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門 婦人科)

UNIVAS CUP安全体制支援制度

安全安心な大学スポーツ環境の整備を目的に、UNIVAS会員の競技団体が主催する大会の試合に医療従事者等を配置する場合の費用補助制度の申請受付を開始いたしました。

大会や試合においては発生してしまうスポーツ外傷・障害に対する迅速な対応が必要であり、その対処を的確に行える医療従事者等を配置することによって安全で安心な体制の実現を促進する制度です。

2024年度からはUNIVAS CUPにエントリーの競技団体用となります。

〈制度利用団体〉 ※取得順

日本学生ウエイトリフティング連盟、全日本学生スキー連盟、日本学生ソフトテニス連盟、

日本学生サーフィン連盟、全日本大学ソフトボール連盟、全日本学生馬術連盟、

日本アメリカンフットボール協会、日本パワーリフティング協会、全日本学生ハンドボール連盟、

日本学生ホッケー連盟、全日本大学バスケットボール連盟、全日本なぎなた連盟、

全日本学生テニス連盟、全日本学生カヌー連盟、日本ローラーイング協会、日本オリエンテーリング協会、

全日本学生レスリング連盟、全日本大学バレーボール連盟、全日本学生空手道連盟、

日本フライングディスク協会、少林寺拳法連盟



UNIVAS CUP
安全体制支援制度

supported by
MS&AD
INSURANCE GROUP

UNIVAS AWARDS 2024-25開催

3月3日、大学スポーツ振興に貢献したアスリートやスポーツに関わる学生、団体を表彰する『UNIVAS AWARDS 2024-25』の表彰式を品川インターイシティホールにて開催し、昨年度を大きく上回る190件の応募数から各部門の最優秀賞の発表を行いました。本表彰制度は、競技成績だけでなく、学業充実や安全安心、大学スポーツの盛り上げなどに著しい成果をあげ、当協会の理念の体現に貢献した学生アスリートやスポーツに関わる学生、OB・OG、指導者、団体を選出し、大学スポーツ全体の活性化に繋げることを目的としています。ゲストとして、柔道日本代表ウルフ・アロン選手、フェンシング日本代表宮脇花輪選手、ハンドボール元日本代表主将土井レミイ杏利氏が登壇し、激励の言葉や、それぞれの大学運動部時代のエピソードなどを話し、最後には未来の日本を担うアスリート達にエールを送りました。



UNIVAS AWARDS 2024-25

マン・オブ・ザ・イヤー

最優秀賞

今崎 圭秦
帝京大学 硬式野球部
優秀賞
安立 雄斗
福岡大学 陸上競技部
東 秀太
広島経済大学 陸上競技部
石原 三四郎
中央大学 レスリング部
鈴木 瑞斗
明治大学体育会同好会連合会
スポーツチャンバラ碧劍会
高尾 真叶
鹿児島大学 弓道部
壺内 怜帆
岡山大学 ウエイトトレーニング部
眞々田 洪大
早稲田大学 競走部

ウーマン・オブ・ザ・イヤー

最優秀賞

神野 ゆめ
中京大学 水泳部
優秀賞
出澤 杏佳
専修大学 球蹴部
尾崎 世梨
法政大学 フェンシング部
谷本 七星
名城大学 体育会女子駅伝部
内藤 千紗
神戸大学 女子タッチフットボール部
長森 遥南
関西学院大学 体育会スケート部
松本 信歩
早稲田大学 水泳部
山口 花音
関西大学 体育会テニス部

パラアスリート・
オブ・ザ・イヤー

最優秀賞

近藤 薫
岐阜協立大学 水泳部
優秀賞
梅本 綾也華
京都産業大学 体育会女子バーボール部
梅本 沙也華
京都産業大学 体育会女子バーボール部
久住呂文華
日本経済大学 女子サッカー部
木原 慧登
東海大学 男子柔道部
古林 陽向
周南公立大学 ハンドボール部
春田 賢人
帝京大学 SAGAMI FORCE
持田 温紀
青山学院大学 体育会水泳部
西山 友菜
青山学院大学 パワーリフティング部
森 慶旭
愛知大学 準硬式野球部

ルーキー・オブ・ザ・イヤー

最優秀賞

前田 凜
環太平洋大学 女子柔道部
松下 知之
東洋大学 水泳部
優秀賞
尾西 桜
日本体育大学 レスリング部
木原 慧登
東海大学 男子柔道部
古林 陽向
周南公立大学 ハンドボール部
春田 賢人
帝京大学 SAGAMI FORCE
持田 温紀
青山学院大学 体育会水泳部
西山 友菜
青山学院大学 パワーリフティング部
森 慶旭
愛知大学 準硬式野球部

デュアルキャリア形成支援
優秀取組賞

最優秀賞

愛知大学
スポーツ支援センター『愛大
Sustainable Dual career
Growing support
(持続可能なデュアルキャリア
への成長支援)』

優秀賞

沖縄大学
沖縄大学体育会
『体育会による入学前教育・
キャリア支援講座』

福岡工業大学
学生課 課外活動支援担当
『正課外活動教育『FIT-FIELD』』

広島修道大学
学生センター
『体育局・文化局を横断した
UNIVAS SSCの運用』

安全安心環境構築
優秀取組賞

最優秀賞

新潟医療福祉大学
アスリートサポート研究センター
『異分野融合型多職種連携による
マルチサポート体制の
構築と取り組み』

優秀賞

岐阜協立大学
スポーツ文化振興室、
強化指定クラブ(硬式野球部、陸上競技部、
サッカー部、男子バーボール部、
女子バーボール部、駅伝部、
女子ソフトボール部、ボート部)
『安全安心セミナーの受講必須化』

帝京大学
学生センター
『体育局・文化局を横断した
UNIVAS SSCの運用』

大学スポーツプロモート
優秀取組賞

最優秀賞

関西学院大学
関西学院大学競技スポーツ局
『学生チーム企画広報部と連携した
質の高い動画コンテンツの作成・
発信による 大学スポーツ広報の推進』

優秀賞

鹿屋体育大学
スポーツアライアンス室
『学生の参画による大学スポーツ
振興のプロモーションの取組』

中京大学
広報課及びスポーツ振興部
『学生広報スタッフ「ライト」が
スポーツ広報大使として活躍!』

帝京大学
帝京スポーツサポーターの会
『帝京大学におけるスポーツ振興
およびキャンパスの活性化』

西日本工業大学
バドミントン部『産学連携および
官学連携による大学スポーツ
プロモーション活動』

日本体育大学
日本体育大学友会バーボール部(女子)/
日本体育大学スポーツマネジメント(佐野)ゼミ/
日本体育大学運動方法バーボール(根本)ゼミ
『大学女子バーボール対抗戦の立ち上げ』

福岡大学
福岡大学サッカー部
『FUKUDAI SOCCER FESTIVAL 2024』

名城大学
総務部スポーツマネジメント課、
渉外部広報課、Meijo Sports Project、
女子駅伝部『大学・学生・スポンサー
三位一体で創り上げる「魅せる」・
「楽しめる」パブリックビューイング』

大学スポーツ組織運営
優秀取組賞

最優秀賞

順天堂大学
スポーツ推進支援センター

優秀賞

鹿屋体育大学
アスレチックデパートメント(AD)

熊本学園大学
スポーツ振興センター

長崎国際大学
事務局:スポーツ支援・
振興室 教職員協働組織:
スポーツサポートセンター

新潟医療福祉大学
スポーツ振興室

サポートイングスタッフ・
オブ・ザ・イヤー

最優秀賞

小林 暖弥
名城大学 体育会応援団吹奏楽部
優秀賞

太田 美遥
羽衣国際大学 女子ソフトボール部

河原 美優
岡山大学 ウエイトトレーニング部

羽山 温音
環太平洋大学 体育会サッカー部

進士 恵益
関西学院大学 体育会硬式野球部

蜂須賀 友助
鹿屋体育大学 "硬式野球部イバーチンコーチ
Blue Winds学生マネジメントスタッフ"

平沼 未菜
専修大学 体育会スキー部

望月 蒼生
立教大学 応援団

コーチ・オブ・ザ・イヤー

最優秀賞

柳川 美磨
育英大学 レスリング部
優秀賞

草薙 健太
中京大学 水泳部

佐熊 裕和
新潟医療福祉大学 男子サッカー部

清水 正
山梨学院大学 ソフトボール部(女子)

富田 洋之
順天堂大学 体操競技部

橋本 啓嗣
関西学院大学 体育会スケート部(スピード部門)

半田 阜也
中京大学 硬式野球部

松原 瑞貴
岐阜協立大学 陸上競技部

スポーツマンシップ・
オブ・ザ・イヤー

優秀賞

國川 透也
駒澤大学 ボクシング部
西田 陽成
東海大学 男子バスケットボール部

三屋 裕子
日本バスケットボール協会会長
日本オリンピック委員会副会長
筑波大学大学院コーチ学専攻

アルムナイ アワード

優秀賞

國川 透也
駒澤大学 ボクシング部
西田 陽成
東海大学 男子バスケットボール部

三屋 裕子
日本バスケットボール協会会長
日本オリンピック委員会副会長
筑波大学大学院コーチ学専攻



マン・オブ・ザ・イヤー
今崎 圭秦
帝京大学 硬式野球部



ウーマン・オブ・ザ・イヤー
神野 ゆめ
中京大学 水泳部



パラアスリート・オブ・ザ・イヤー
近藤 薫
岐阜協立大学 水泳部

まさか自分が選ばれると思っていたいなかったので、
とても嬉しいです。野球というのは個人で戦うもの
ではないと思うので、この賞をいただけたことは、
様々な方が支えてくださったおかげだと思ってい
ます。本当にありがとうございました。

私の幼い頃からの夢はオリンピック選手になること
です。これからは2028年のオリンピックロサンゼル
ス大会出場を目指にし、夢を現実に変えられるよ
うに精一杯頑張っていきます。この賞をいただけた
ことは、日ごろから支えてくれる家族やコーチ、チー
ムメイト、私に関わってくださるすべての皆様のお
かげだと思っております。この賞に恥じぬよう、
これからも一生懸命競技と学業に精進して参りま
す。本日はありがとうございました。

このような賞を頂けたこと、本当に嬉しい思って
います。パラ水泳を通じて、たくさんの方に支え
てもらいました。様々な挑戦ができたと思ってい
ます。これからももっと自分にしかできない、私にしか
できない挑戦を続けていこうと思っています。愛
されるチームを目指してがんばります。応援よ
ろしくお願いします。

UNIVAS CUP 2024-25 シーズンの結果

UNIVAS CUPは、大学スポーツの総合力を競う取り組みとして、2019年に始まり、6年目を迎えました。これは、UNIVASの正会員である33競技団体が開催する大会のうち、全国の大学が参加して大学日本一を決める大会を「UNIVAS CUP」の指定大会とし、各競技団体に割り振られたポイントを大会の順位に応じて付与し、総ポイント獲得数をもとに総合順位を決定します。UNIVAS CUP 2024-25シーズンは225大学が参加して行われました。



UNIVAS CUP 2024-25

総合ランキング

男女別ポイント獲得数	
男子競技部門	女子競技部門
第1位 早稲田大学	第1位 早稲田大学
第2位 日本体育大学	第2位 日本体育大学
第3位 東海大学	第3位 帝京大学

地区別総合ランキング

北海道地区	東北地区	関東地区
第1位 北翔大学	第1位 仙台大学	第1位 早稲田大学
第2位 北海道大学	第2位 東日本国際大学	第2位 日本体育大学
第3位 札幌国際大学	第3位 東北大	第3位 東海大学

中国地区

四国地区	九州地区	国公立部門
第1位 環太平洋大学	第1位 松山大学	第1位 福岡大学
第2位 広島経済大学	第2位 四国大学	第2位 鹿屋体育大学
第3位 広島大学	第3位 四国学院大学	第3位 九州国際大学

LIVE配信

大学スポーツの魅力に触れ、より多くの方に关心を持ってもらうため、競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP」をはじめ、各地域で開催するリーグ戦、大学主催のホームゲームなどのライブやハイライトの試合動画配信を行っていました。



UNIVAS STUDENT LOUNGE

UNIVAS STUDENT LOUNGE(通称、U.S.L.)は、さまざまな大学生が集まり、情報を交換しながら、大学スポーツの魅力を主体的に伝えていく情報発信の場です。学生ならではの自由な発想で多彩なコンテンツをお届けします。



2024年度卒業メンバーコメント



石垣諒大
中京大学卒
U.S.L.2期生

U.S.L.には大学2年の春から参加し、主にUNIVAS CUPや地区リーグ戦の取材を中心に行っていました。インタビューや撮影など、初めてのことばかりで不安が大きかったことを今でも覚えています。活動を振り返ってみて、私が伝えたいことは「U.S.L.での経験や絆は一生の宝物になる」ということです。ここで経験や人とのつながりは、今後の人生に大きく役に立つものだと感じていますし、素敵な仲間に出会えたことで大学生活がより豊かになりました。興味がある方はぜひU.S.L.に参加してみてください。学生たちの新たな挑戦を応援しています。



松井花望子
神戸大学卒
U.S.L.4期生

U.S.L.では、競技人口が少ない競技に対して、「少しでも多くの人に興味を持ってほしい・競技を盛り上げたい」という一心で企画を立ち上げ、マイナースポーツへの取材を中心に活動しました。今まで馴染みのなかった競技の選手や競技を盛り上げようと尽力されている方々のお話を伺う中で、「こんな考え方でできるんだ!」と、自分の視野が広がりました。また、競技への熱意に触れることで、自分も頑張ろうと元気をもらうことができ、スポーツが持つ力を改めて感じました。



U.S.L.現地取材

UNIVAS CUPや地区ごとのリーグ戦などの試合を現地で取材し、大学スポーツの魅力や学生たちの声を全国に届けています。



Voices of Student Athletes

日本代表レベルの学生アスリートに取材し、競技に対する姿勢や取り組み、学業との両立の仕方など、様々な魅力を発信しています。

2024年度取材実績 ※取材実施順

張本智和選手(早稲田大学/卓球)、矢崎桜子選手(青山学院大学/ラグビー)、中川もえ選手(宮崎大学/パラ陸上)、藤原芽花選手(佛教大学/車いすバスケットボール)、田中映伍選手(東洋大学/パラ水泳)、竹原秀一選手(東洋大学/競泳)



#熱狂大学スポーツ

様々な大学運動部に取材し、大学スポーツに熱狂する学生たちの魅力を発信しています。

2024年度取材実績 ※取材実施順

神戸大学ボート部、大阪公立大学ボート部、大阪大学アーチェリー部、京都大学馬術部、大阪体育大学なぎなた部、愛知大学馬術部、関西大学ラクロス部、中央大学ラクロス部、武庫川女子大学ラクロス部



MOMENT CALENDAR

「〇〇の日」にちなんで、UNIVAS フォトギャラリーに掲載されている写真からセレクトし投稿。大学スポーツについて考えたり、試合を振り返ったりする機会を創出します。

例) ガッツポーズの日、決闘の日、絆の日、海の日、野球の日など

UNIVAS 公式SNS

Instagram



X



Facebook



YouTube



国際交流

広州体育大学の来日

2024年12月9日、広州体育学院(中国広州市)の学長を始め、5名の方々が来日され、日本の大学スポーツとの交流や大学スポーツの推進体制について意見交換を行いました。



テンプル大学と交流

5月15日(水) テンプル大学日本キャンパスにおいて、研修のため日本に訪れたアメリカのテンプル大学(ペンシルベニア州 フィラデルフィア)の学生24名に、UNIVASの活動と日本の大学スポーツについてプレゼンテーションを行いました。



中国国家体育総局の来日研修

2024年8月7日、Japan Olympic Squareにて中国国家体育総局(日本のスポーツ庁にあたる機関)の20名のメンバーが来日され、当協会専務理事の池田敦司がUNIVASの取り組みについて説明しました。



My UNIVAS

UNIVASが会員向けに提供するサービスとして、簡単な登録をするだけで、さまざまなサービス(研修コンテンツ、運動部の管理機能など)をいつでもオンデマンドで利用できます。



研修会アーカイブ視聴

UNIVASが定期開催している各オンライン研修会(コンプライアンス/安全安心セミナー等)のアーカイブ動画を部内の研修等にも活用することができます。
※管理者/指導者/学生向けに各テーマを設定しています。



- コンプライアンスとは
- ハラスメント(基礎編)
- ハラスメント(事案編)
- SNS(基礎編)
- SNS(事案編)
- クリーンスポーツの実現に向けて
～知らないと危険?自分を守るドーピング防止の知識～
- 大学生が巻き込まれやすいトラブル(薬物編)
- 大学生の身近な法律問題
- 大学生が巻き込まれやすいトラブル(飲酒編)
- 大学生が巻き込まれやすいトラブル(闇バイト編)



- 熱中症の予防と対策
- 心肺停止・突然死の予防と対策
- 「頭部外傷の予防と対策～脳振盪や脳挫傷等のリスクから身を守る～」
- 「学生アスリートのメンタルヘルス～自身の気付きと周囲のケア～」女性アスリートのコンディショニング
- 「スポーツに取り組む女性のコンディショニング～基礎知識と対策～」

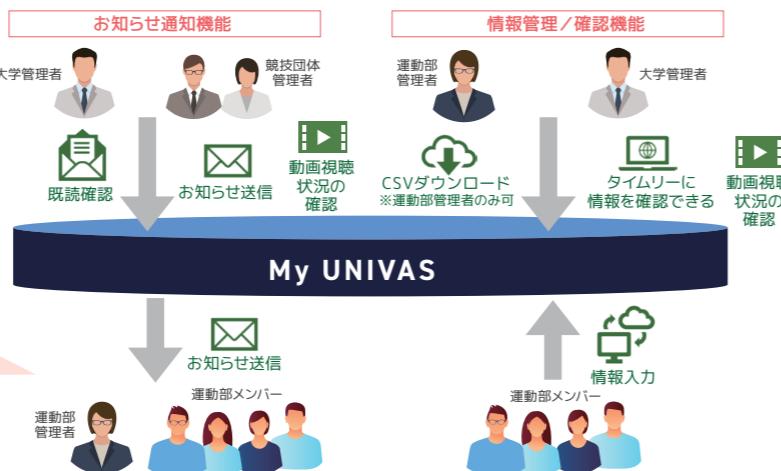
管理者向けサービス

大学ご担当者様や運動部のスタッフ(指導者・主務・マネージャー等)向けに運動部の運営を支援する様々な機能も備えています。

★運動部管理者は部のメンバー情報の管理/動画視聴状況の確認をすることができます。

★競技団体管理者は各部から1か所に集約したファイルを一括でダウンロードする事ができます。

★大学/競技団体/運動部管理者はメンバーにお知らせを送ることができ、既読情報を確認することができます。



メンバー向けサービス

UNIVAS CUPで躍動した学生アスリートの輝くシーンを収めた「PHOTO GALLERY」は、各競技1000枚以上の写真を閲覧できるほか、加盟している団体の運動部学生は自分の写真をダウンロードして楽しむことができます。



学生の輝く瞬間、勝利の歓喜、敗者の悔しい瞬間を逃さず撮影を行っています。
ぜひご覧ください。

HISTORY

2019	
3月/ロゴマーク発表	3月/一般社団法人 大学スポーツ協会誕生
6月/UNIVAS CUPスタート	6月/「UNIVAS AWARDS 2021-22」最優秀賞を発表
8月/パートナーシップ契約締結 マイナビ、KDDI、MS&AD、KEI	8月/「大学における大学スポーツ不祥事対応に係る手引書」発行
10月/UNIVAS相談窓口設置	12月/医療従事者などの配置事業の派遣スタート
2020	
1月/安全安心ガイドラインの発行	1月/入学前教育プログラム(学習支援)スタート
3月/UNIVAS AWARDS 2019-20 開催	2月/UNIVASリーダーズキャンプ2020 開催
6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2020-21」の開催	6月/新型コロナウイルス感染症対策としての「UNIVAS大学スポーツ活動再開ガイドライン」を公開
7月/デュアルキャリアプログラムスタート	7月/デュアルキャリアプログラムスタート
8月/大学スポーツの盛り上げを大学生自らの手で「UNIVASスポーツ実況アナウンス講座」を開講	8月/大学スポーツの盛り上げを大学生自らの手で「UNIVASスポーツ実況アナウンス講座」を開講
9月/国内初の保険制度「スポーツセーフティネット」を導入	9月/国内初の保険制度「スポーツセーフティネット」を導入
10月/マイナビと共に就活と部活動の両立を目指す「運動部学生のための就職セミナー」をオンラインで初開催	10月/マイナビと共に就活と部活動の両立を目指す「運動部学生のための就職セミナー」をオンラインで初開催
12月/「安全安心FORUM」開催	12月/「安全安心FORUM」開催
2021	
3月/「UNIVAS AWARDS 2020-21」最優秀賞受賞者を発表	3月/「UNIVAS AWARDS 2020-21」最優秀賞受賞者を発表
5月/UNIVAS SSC制度スタート	3月/組織ガバナンス強化に向けて大学スポーツ処分事例集(競技団体編)を発行
6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2021-22」の開催	6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2021-22」の開催
6月/大学スポーツ発展と大学生自身の成長を促す取り組み「UNIVAS STUDENT LOUNGE(U.S.L.)」発足	6月/大学スポーツ発展と大学生自身の成長を促す取り組み「UNIVAS STUDENT LOUNGE(U.S.L.)」発足
9月/大学スポーツ映像視聴アプリ「UNIVAS Plus」を提供開始	9月/日本初の安全安心認証「UNIVAS SSC」を発行、第一号会員は中京大学
10月/学生アスリートの輝きを見逃さない「UNIVAS PHOTO GALLERY」各競技の写真を公開	10月/学生アスリートの輝きを見逃さない「UNIVAS PHOTO GALLERY」各競技の写真を公開
12月/学業基準の指針「運動部学生の学修支援となる単位数めやす」を公表	12月/学業基準の指針「運動部学生の学修支援となる単位数めやす」を公表
2022	
2月/大学スポーツ映像視聴アプリ「UNIVAS Plus」に新たな機能「運動部動画投稿サービス」を追加	2月/「UNIVAS Athletics & Sport Design Symposium 2022」開催
3月/「大学における大学スポーツ不祥事対応に係る手引書」発行	4月/UNIVASと慶應義塾大学「UNIVASスポーツ外傷・障害予防研究」の共同研究契約を締結
6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2022-23」の開催	5月/UNIVAS・マイナビアスリートキャリアと共に「社会で活躍するアスリート人材」をテーマにトークセッションを開催!
9月/UNIVASと順天堂大学、アスリートのコンディションについて考える「女性アスリートのためのシンポジウム」を開催	7月/安全安心な大学スポーツの環境を整備するため「安全安心セミナー」を定期的に開催!
10月/「UNIVAS Plus」マルチアングルなどを追加したプレミアムプランを提供開始	10月/「UNIVAS Plus」マルチアングルなどを追加したプレミアムプランを提供開始
2023	
3月/「UNIVAS AWARDS 2022-23」初のリアルイベントにて各部門の最優秀賞を発表!	3月/スポーツ庁委託事業「大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業」成果報告会
5月/3つの形式でコンプライアンス研修会を定期開催	5月/「スポーツを通して考える みんなの月経」 in 大阪大学
6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2023-24」の開催	6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2023-24」の開催
11月/日本経済新聞社とのシンポジウムを初開催!「よりよい自分へ、高めあう大学スポーツ～UNIVASが思考する人材育成とガバナンス～」	8月/管理者・指導者セミナー 2023 3会場での開催
12月/U.S.L.企画リアルスタッフミーティング初開催	11月/日本経済新聞社とのシンポジウムを初開催!「よりよい自分へ、高めあう大学スポーツ～UNIVASが思考する人材育成とガバナンス～」
2024	
2月/スポーツ庁委託事業「令和5年度スポーツ庁委託事業 大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業」成果報告会	3月/UNIVAS AWARDS 2023-24 最優秀賞を発表
3月/河合塾グループKEIアドバンスと共同開発した新大学生向けの学びの内容に特化した「スポーツと学びのハンドブック」を刊行	6月/競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP 2024-25」の開催
10月/東京都教育委員会と学校部活動の地域連携・地域移行の実現に向けて連携協定を締結	10月/東京都教育委員会と学校部活動の地域連携・地域移行の実現に向けて連携協定を締結
2025	
2月/スポーツ庁委託事業「令和6年度 感動する大学スポーツ総合支援事業」成果報告会	2月/日本郵政・NHKエデュケーションナルとパートナーシップ契約締結
3月/UNIVAS AWARDS 2024-25 最優秀賞を発表	3月/UNIVAS AWARDS 2024-25 最優秀賞を発表

UNIVAS 入会のご案内

1.大学・競技団体のご入会は随時受け付けております。

【入会資格】 ■大学(短期大学を含む)又は大学を設置する法人

■JSPO、JOC、JPC、JPSAに加盟又は登録する競技団体の学生競技団体又は学生競技を直接に統轄する中央競技団体

【入会費用】 ■入会金 10万円 ■年会費 10万円※※弊協会事業年度下半期に入会した場合は年会費5万円

【入会条件等】 ■当協会の活動指針に賛同し、定款等を遵守するとともに、社員総会及び理事会の決定に従うこと。

【入会日】 ■入会承認は理事会にて行われます。したがって入会日は理事会にて入会承認を得た日付となります。

【入会手続等】 ■下記2.記載の問い合わせ先にご連絡ください。入会申込書等をご案内致します。

■その他入会に関してご不明点がございましたら、遠慮なくご連絡ください。

2.お問い合わせ先／一般社団法人大学スポーツ協会 e-mail:info@univas.jp TEL:03-3234-0800



一般社団法人
大学スポーツ協会

